

## 2024 年度まさこ基金助成審査会報告

日時：2024 年 5 月 1 日（水）20 時 00 分～21 時 25 分

形式：Zoom によるオンライン開催

出席：土井、大阿久、友沢、橋本、尾崎、栗岡、  
田淵（第三者委員）、青木（オブザーバー・事務局）

2024 年度応募者および事業名は以下のとおり。

No.	氏名	年齢	事業名称
1	木葉 郁美	37	9 コマ漫画による禁煙資材作成の取り組み
2	小野 龍太郎	35	パノラマ X 線写真を用いた喫煙者の喪失歯数に関する実態調査
3	北村 優依	25	糖尿病患者の喫煙状況と糖尿病ならびに歯周病との関連に関する研究
4	河村 汐織	22	シーシャカフェ・バーにおいて喫煙による健康影響に関する情報提供は行われているのか：東京都渋谷区内の店舗を対象とした実態調査

協議事項：

### 1) 助成対象者としての適格性

応募者の年齢は 39 歳以下で助成対象の条件を満たしている。事業はいずれもタバココントロールに関わる研究・活動であり助成対象として適格である。事業 1 は禁煙資料作成、事業 4 は主にネット上での店舗を対象とした調査である。事業 2 はヒトを対象とした研究で、倫理委員会の承認を得ている。事業 3 は大規模コホート調査のデータを用いて解析するものである。申請書の内容および方法についてはいずれも倫理的・論理的問題はないと思われた。

### 2) 事業内容の吟味

1. 視覚的でストーリー性のある漫画を様々な禁煙支援の場面で利用するというユニークな取り組み。漫画の作成は応募者らと漫画家との共同作業になると思われるが、30 枚の漫画がどのようなテーマ・内容になるのか興味がある。漫画使用の効果は使用した看護師によって行われるということだが、対象である喫煙者の感想と禁煙への効果についても知りたいところである。制作された漫画が熊本機能病院以外でも使用できるのか気になる。

2. パノラマ X 線写真を用いて喫煙者・非喫煙者関での喪失歯数の違いを比較検討するという研究。喫煙、禁煙年数と喪失歯数などについてはすでに既報の研究があり、必ずしも

新規性はないが、歯科での禁煙支援に有用なエビデンスが得られる可能性がある。応募者は2022年にも喫煙による歯槽骨密度への影響の検討で応募して助成されている。同一の応募者に複数回助成することについての疑義もあったが、前回の事業報告も的確であったので助成についての反対はなかった。

3. 前向きコホート研究 JDCP study のデータを用いた糖尿病患者における喫煙と歯周病との関連に関する疫学的研究。JDCP の対象患者数は6400人で、糖尿病患者における喫煙による歯周病の実態と相関が明らかになり、禁煙支援や受診勧奨にも役立つ可能性がある。ただし事業の詳細な内容や方法および経費の内訳が不明瞭である。

4. シーシャカフェ・バーで健康影響に関する情報提供が行われているかどうかを東京の渋谷区の店舗を対象にネット上で調査するという時宜にかなった事業。近年、シーシャ（水タバコ）を提供する店が大都市圏を中心に増加しており、特にファッショナブルな宣伝で若者への使用拡大が心配されている。サービス提供者は営業に不利な情報は店舗やネット上には開示しないのではないかという意見があった。シーシャを扱う店舗についてはその実態も明らかではないので実態把握と法的規制へのエビデンスになる可能性がある。

### 3) 助成金額の検討・決定

1. の経費はほとんどが漫画の作成費用で、やや低額にも思われるが申請額としては妥当と考えられた。2、4. については、経費の内容としては妥当と思われるため2については申請額どおり、4については助成基準限度額の100,000円を助成することで委員の意見が一致した。3. については経費の内訳が不明瞭で金額も妥当であるかどうか判断できないので、事業終了時に詳細な報告を求める条件で請求額を助成することとした。

以上より、助成金額（円）は以下のとおりとすることをまさこ基金助成審査会として提案する。

1. 100,000	2. 97,000	3. 100,000	4. 100,000	合計金額	397,000
------------	-----------	------------	------------	------	---------